

地域における金融リテラシーの向上（2020年度上期実績）

<資産形成>

- ・「オンデマンドほくぎん投資信託セミナー」、「資産運用オンラインセミナー」を開催（北陸銀行・北海道銀行）

5月～9月にかけ、お客さまへの資産運用および投資環境に関する情報提供を行うため「資産運用オンラインセミナー」を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、お客さまがご自宅のパソコンやタブレット端末から、投資環境や運用戦略にかかる最新の情報セミナーを受講できるよう、オンラインによる情報発信を行っています。

北陸銀行では8月に、オンデマンド配信にて投資信託セミナーを開催しました。世界のマーケット環境および投資信託運用会社によるファンドの運用報告を中心に、コロナ禍の市況環境の振り返りと今後のトレンドも織り込みながら、5つの演題をご用意し、ご興味のあるものを自由に選択してご視聴いただく形で開催しました。

今後もオンラインやオンデマンドによる資産運用に役立つ情報を継続的に発信することで、お客さまの安定した資産形成に貢献してまいります。

健全で強靱な経営基盤の構築（2020年度上期実績）

<システム>

- ・「預かり物件管理システム」の導入（北陸銀行・北海道銀行）

お客さまの利便性向上および厳正・明確な管理ならびに事務の効率化を目的として、ほくほくフィナンシャルグループ共同にて、タブレット端末を活用した「預かり物件管理システム」を導入いたしました。このシステムは、窓口や訪問先でお客さまから現金や通帳などをお預かりする際に、タブレット端末に入力いただくことで、お預かりから保管、ご返却までのプロセスを一元管理するシステムです。従来は紙による「お取次票」を用いていましたが、本システムによりペーパーレスでのお手続きが可能となりました。

すべてのお客さまにとっての利便性の向上（2020年度上期実績）

<新サービス>

- ・「北陸銀行toto」「北海道銀行toto」の開始（北陸銀行・北海道銀行）

9月より、auじぶん銀行と提携し、専用ホームページへの登録を行うことで、北陸銀行・北海道銀行にお持ちの普通預金口座からスポーツくじ（toto、BIG）が購入できるサービスを開始いたしました。当せん金も登録口座へ自動振込を行うため、面倒な受取手続きなどが不要となり、利便性が向上しました。

北陸3県・北海道の地方銀行としては初めての取り組みです。スポーツくじの売上の一部はスポーツ振興を目的とした事業に助成が行われており、地域スポーツ施設の整備にも利用されるなど、地方創生やその活性化にも貢献しています。



- ・北央信用組合とのATM連携（北海道銀行）

10月、北央信用組合とのATM無料連携の内容を拡大しました。従来、北央信用組合のお客さまは北海道銀行ATMを手数料無料で引出し・振込みをご利用いただくことが可能でした。このたび、預入れも手数料無料でご利用いただくことが可能となったことに加え、北海道銀行のお客さまも北央信用組合のATMを手数料無料で引出し・振込み・預入れ利用できるようになりました。これまでに5つの道内信用金庫とATM相互無料連携を締結しておりますが、預入れを無料とする連携は北央信用組合が初めてとなります。これからもお客さまの利便性維持・向上とATMの効率的な運行に取り組んでまいります。

<新店舗>

- ・帯広支店・千歳支店の移転開店（北海道銀行）

6月、帯広支店および千歳支店を移転開店しました。帯広支店は帯広商工会議所との共有物件に移転し、地域経済のシンボルタワーとして、地域に貢献する役割を發揮します。また、千歳支店は、JR千歳駅と直結するビルに移転し、ATMの営業時間を土日祝日を含め一律21時まで延長することで利便性が向上しました。これからも地域のお客さまに、便利にご利用いただけるよう取り組んでまいります。



帯広支店



千歳支店

生産性向上に繋がる職場づくり（2020年度上期実績）

<働き方改革推進>

- ・「えるぼし（3段階目）」、「くるみん認定」を取得（北陸銀行・北海道銀行）

9月、北陸銀行は、女性の活躍推進に関して優良な取り組みを行った企業として「えるぼし（3段階目）」を取得しました。また、北海道銀行は、仕事と子育ての両立支援に取り組む優良な子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得しました。

今後も、多様な人財の活躍支援やワーク・ライフ・バランスの推進等に積極的に取り組み、誰もが活躍できる職場環境を整備してまいります。

